

## 日本認知科学会第 33 回大会のお知らせ

### 会期

2016 年 9 月 16 日(金), 17 日(土), 18 日(日)

### 会場

北海道大学 大学院情報科学研究科棟 (16 日)

フロンティア応用科学研究棟 (17-18 日)

### 参加費

	正会員	学生会員	非会員(一般)	非会員(学生)
参加費	7,000 円	4,000 円	10,000 円	7,000 円

### 懇親会

17 日(土) 17:30 からの ポスターセッション 1 に合わせて, 北部食堂 (北大生協) に, 軽食と飲み物をご用意いたします。大会参加者は無料です。ぜひご参加ください。

### お問い合わせ先

大会 Web ページ : <http://www.jcss.gr.jp/meetings/jcss2016/index.html>

実行委員会 : [jcss2016@jcss.gr.jp](mailto:jcss2016@jcss.gr.jp)

プログラム委員会 : [jcss2016-pc@jcss.gr.jp](mailto:jcss2016-pc@jcss.gr.jp)

## 日本認知科学会第 33 回大会委員会

大会委員長            中島 秀之（東京大学・公立ほこだて未来大学）

実行委員長            小野 哲雄（北海道大学）

プログラム委員長    南部 美砂子（公立ほこだて未来大学）

### 実行委員

荒木 健治（北海道大学），石川 悟（北星学園大学），伊藤 崇（北海道大学），  
杉本 雅則（北海道大学），棟方 渚（北海道大学）

### プログラム委員

青山 征彦（成城大学），岡部 大介（東京都市大学），金井 明人（法政大学），  
嶋田 総太郎（明治大学），島田 英昭（信州大学），新垣 紀子（成城大学），  
竹内 勇剛（静岡大学），大西 仁（放送大学，前プログラム委員長）

会場（大学院情報科学研究科棟：情報，フロンティア応用科学研究棟：フロ）

	会場	16日(金)	17日(土)	18日(日)
大会受付				
クローク	16日 情報 2階 17日 18日 フロ 1階	9:00-18:30	8:30-17:30	8:30-16:00
大会本部				
休憩室	16日 ホワイエ(情報 2階) 17日 18日 セミナー室 2 (フロ 2階)	9:00-18:00	9:00-17:00	9:00-12:00
特別企画			10:30-11:50	
総会			12:50-13:30	
野島賞 報告セッション			13:30-14:00	
特別講演			14:10-15:10	
フェロー講演	レクチャーホール (フロ 2階)			10:30-11:30
会長講演				12:30-13:30
口頭発表 1			9:00-10:20	
口頭発表 2			15:20-16:20	
口頭発表 3				9:00-10:20
フラッシュトーク			16:30-17:20	
ポスターセッション 1	北部食堂（北大生協）		17:30-19:30	
ポスターセッション 2	セミナー室 1,2 (フロ 1,2階)			13:40-15:40
オーガナイズド OS01	A11 (情報 1階)	9:30-12:00		
OS02	A12 (情報 1階)	9:30-12:00		
OS03	A22 (情報 2階)	9:30-12:00		
OS04	A23 (情報 2階)	9:30-12:00		
OS05	A24 (情報 2階)	9:30-12:00		
OS06	A11 (情報 1階)	13:00-15:30		
OS07	A12 (情報 1階)	13:00-15:30		
OS08	A13 (情報 1階)	13:00-18:20		
OS09	A22 (情報 2階)	13:00-18:20		
OS10	A23 (情報 2階)	13:00-15:30		
OS11-1,2	A24 (情報 2階)	13:00-18:20		
OS12	A11 (情報 1階)	15:50-18:20		
OS13	A12 (情報 1階)	15:50-18:20		

OS14	A23 (情報 2 階)	15:50-18:20	
編集委員会	A21 (情報 2 階)	12:00-13:00	
運営委員会	セミナー室 1(フロ 1 階)	11:50-12:50	
企業展示	エントランスホール (フロ 1 階)	9:00-17:00	9:00-16:00

# スケジュール

9月16日(金) 大学院情報科学研究科棟	9月17日(土) フロンティア応用科学研究棟 2階 レクチャーホール	9月18日(日) フロンティア応用科学研究棟 2階 レクチャーホール
8:30	8:30 受付開始 (1階)	8:30 受付開始 (1階)
9:00 受付開始 (2階)	9:00 口頭発表1	9:00 口頭発表3
9:30	10:20 休憩	10:20 休憩
オーガナイズドセッション OS01 A11 OS02 A12 OS03 A22 OS04 A23 OS05 A24	10:30 特別企画 ヒト/動物/人工物の社会性の 認知基盤：解明と応用	10:30 フェロー講演：乾敏郎氏 言語・非言語コミュニケーション の基盤機構と発達原理
12:00 昼休み 編集委員会 A21	11:50 昼休み 運営委員会 @1階 セミナー室1	11:30 昼休み
13:00	12:50 総会	12:30 会長講演：大森隆司氏 対人インタラクション知能の 解明に向けて
オーガナイズドセッション OS06 A11 OS07 A12 OS08 A13 OS09 A22 OS10 A23 OS11-1 A24	13:30 野島賞 報告セッション	13:30 休憩
15:30 休憩	14:00 休憩	13:40
15:50	14:10 特別講演 佐々木佳津子氏 (ワイン醸造家) ワインの香りと コミュニケーション	ポスターセッション2 @1,2階 セミナー室1,2 (13:00-掲示可)
オーガナイズドセッション OS08 A13 OS09 A22 OS11-2 A24 OS12 A11 OS13 A12 OS14 A23	15:10 休憩	15:40
18:20	15:20 口頭発表2	
	16:20 休憩	
	16:30 フラッシュトーク	
	17:20 休憩	
	17:30	
	ポスターセッション1&懇親会 @北部食堂 (北大生協) (16:00-掲示可)	
	19:30	

## 参加者へのご案内

### (1) 参加受付・クローク

場所： 16日(金) 大学院情報科学研究科棟 2階  
17日(土)18日(日) フロンティア応用科学研究棟 1階

時間： 16日(金) 9:00-18:30  
17日(土) 8:30-17:30  
18日(日) 8:30-16:00

### (2) 発表者

#### 口頭発表

- ・発表 15分、質疑応答 5分です
- ・VGA出力端子（D-Sub15ピン）のあるPCを各自でご用意ください  
プロジェクターとスピーカーを使用することができます
- ・発表者は、セッション開始の5分前までに、PCの接続確認と座長による出席確認をすませてください

#### ポスター発表

- ・ポスターのサイズは A0タテ（841×1189mm）です
- ・掲示に必要なピン等は、ポスター会場受付にてお渡しします
- ・当日のセッション開始時刻までに掲示してください  
17日は16:00から、18日は13:00から掲示できます
- ・在席責任時間は、以下の通りです  
ポスター1（17日）：奇数番号 17:30～18:20 偶数番号 18:20～19:10  
ポスター2（18日）：奇数番号 13:40～14:30 偶数番号 14:30～15:20

#### フラッシュトーク

- ・ポスター1（17日）のフラッシュありの発表が対象です
- ・研究概要を1分間で説明してください
- ・PC（VGA出力端子付）は各自でご用意ください

## オーガナイズドセッション

- ・ PC (VGA 出力端子付) は各自でご用意ください  
プロジェクターとスピーカーを使用することができます

### (3) 総会

日本認知科学会の会員総会を 17 日(土) 12:50 より, レクチャーホール (フロンティア応用科学研究棟 2 階) にて開催いたします。会員の方はぜひご参加ください。

### (4) 委員会

編集委員会は 16 日(金) 12:00 より大学院情報科学研究科棟 2 階 A21 教室にて, 運営委員会は 17 日(土) 11:50 よりフロンティア応用科学研究棟 1 階 セミナー室 1 にて開催されます。

### (5) 懇親会

今年の懇親会も, ポスターセッションと同時に開催します。

17 日(土) 17:30 からの ポスターセッション 1 の会場 (北部食堂) に, 軽食と飲み物をご用意いたします。大会参加者は無料です。ぜひご参加ください。

9月16日(金)

オーガナイズドセッション

### OS01 記号接地の原動力としての仮説形成推論

企画者：佐治伸郎(鎌倉女子大学), 渡邊淳司(NTTコミュニケーション科学基礎研究所)

9:30-12:00 会場：A11(大学院情報科学研究科棟1階)

OS01-1 探求推進力としてのアブダクション

加藤隆文(名古屋大学/日本学術振興会)

OS01-2 チンパンジーからみる記号とその情報利用

井上紗奈(甲南女子大学)

OS01-3 語意推論とレキシコンの構築におけるアブダクションの役割

今井むつみ(慶應義塾大学)

OS01-4 認知の動的生成の根幹としての記号接地

諏訪正樹(慶應義塾大学)

OS01-5 記号的コミュニケーションシステムの形成過程において解釈学的循環を構成するモデルベース強化学習の役割

金野武司(金沢工業大学), 橋本敬(北陸先端科学技術大学院大学), 奥田次郎(京都産業大学), 鮫島和行(玉川大学), 李冠宏(北陸先端科学技術大学院大学)

### OS02 協調学習からみたプログラミング学習におけるインタラクションの可能性

企画者：遠山紗矢香(静岡大学), 松澤芳昭(青山学院大学), 竹内勇剛(静岡大学)

9:30-12:00 会場：A12(大学院情報科学研究科棟1階)

OS02-1 リテラシーとしてのプログラミング教育：学習者と世界のインタラクションの視点から

松澤芳昭(青山学院大学)

OS02-2 協調学習を用いたスキル学習における承認欲求の向上に関する実験的検討

谷口政志(静岡大学), 河原正人(静岡大学), Ellina Rienovita(静岡大学), 竹内勇剛(静岡大学), 林勇吾(立命館大学)

OS02-3 共同体の持続的な環境改善のための大学生の協調的なプログラミング

近藤秀樹(九州工業大学)

OS02-4 協調学習による小学校での学習とプログラミングのインタラクション

遠山紗矢香(静岡大学)

### OS03 プロジェクション科学の創出をめざして

企画者：鈴木宏昭（青山学院大学），小野哲雄（北海道大学）

9:30-12:00 会場：A22（大学院情報科学研究科棟2階）

#### OS03-1 プロジェクション科学の展望

鈴木宏昭(青山学院大学)

#### OS03-2 「プロジェクションサイエンス」の視点からの認知的メカニズムのモデル論的理解

小野哲雄(北海道大学)

#### OS03-3 認知神経科学の諸問題に対する「プロジェクションサイエンス」からの検討

小川健二(北海道大学)

#### OS03-4 自己身体と操作対象の身体図式の一致はより強い運動主体感・身体所有感を喚起する

渡邊翔太(名古屋大学), 川合伸幸(名古屋大学)

#### OS03-5 イノベーション創出過程におけるプロジェクション：製造業技術者の調査からの報告

竹田陽子(横浜国立大学)

#### OS03-6 身体化エージェントの身体配置が誘発するユーザの投射

鈴木聡(大阪経済法科大学)

### OS04 「生活の場」というフィールドでの認知科学研究：挑戦と可能性

企画者：須藤智（静岡大学），富田瑛智（筑波大学），新垣紀子（成城大学），原田悦子（筑波大学）

9:30-12:00 会場：A23（大学院情報科学研究科棟2階）

#### OS04-1 認知工学・認知科学研究のフィールド：なぜ今、生活の場研究なのか？

須藤智(静岡大学)

#### OS04-2 生活の場における人工物の使いやすさ研究-実験室からフィールドまで-

富田瑛智(筑波大学)

#### OS04-3 生活の場における人々の日常的な活動：人工物とナビゲーション

新垣紀子(成城大学)

#### OS04-4 生活の場での人工物使いやすさ評価：高齢者向け電動アシスト付歩行車の縦断的フィールドテスト

栗延孟(東京都健康長寿医療センター研究所)

#### OS04-5 高齢者が人工物利用時に示す「怖がり」：コミュニティ活動中の人工物利用からの検討

田中伸之輔(筑波大学), 原田悦子(筑波大学)

OS04-6 リビングラボとしての「みんなラボ」の挑戦：家庭訪問調査という方法  
原田悦子(筑波大学)

## OS05 創造性のキモをつかむ

企画者：阿部慶賀（岐阜聖徳学園大学），清河幸子（名古屋大学），寺井仁（近畿大学）

9:30-12:00 会場：A24（大学院情報科学研究科棟2階）

OS05-1 未来洞察ワークショップ会議での非言語コミュニケーションの特徴分析  
鷺田祐一(一橋大学)，本田秀仁(東京大学)，引田幹彦(株式会社インテリジェンス)

OS05-2 洞察問題解決における二重課題時の閾下情報の保持特性  
小田切史士(青山学院大学)，鈴木宏昭(青山学院大学)

OS05-3 洞察問題解決における潜在的情報処理についての生理指標を用いた検討  
小出諒(東京大学)，鈴木宏昭(青山学院大学)

OS05-4 共通点発見課題を用いた対象の捉え直しプロセスの検討  
山川真由(名古屋大学)，清河幸子(名古屋大学)

OS05-5 創造的アイデアと情報探索傾向の個人差  
福田玄明(東京大学)，北田萌香(東京大学)，植田一博(東京大学)

OS05-6 意味空間上の演算は汎用的な計算論的創造性に不可欠か？機械学習によるコンセプト創  
出手法の検討  
須藤明人(東京大学)，藤原直哉(東京大学)，徳田慶太(東京大学医学部附属病院)，本田秀  
仁(東京大学)，植田一博(東京大学)

OS05-7 作品生成とその評価に先行キャラクターが及ぼす影響—漫画作成課題を用いた検討—  
新谷嘉朗(名古屋大学)，寺井仁(近畿大学)，三輪和久(名古屋大学)

## OS06 J・D・M:Literacy, individual differences, and so on...

企画者：中村國則（成城大学），本田秀仁（東京大学）

13:00-15:30 会場：A11（大学院情報科学研究科棟1階）

OS06-1 日本の一般市民のニューメラシーと地震の確率予測等への認知や態度との関係及び回答  
行動  
広田すみれ(東京都市大学)

OS06-2 科学リテラシー・認知スタイルと疑似科学信奉  
眞嶋良全(北星学園大学)

- OS06-3 気候変動に関する意思決定におけるリテラシーとその個人差を巡る諸問題  
山内保典(東北大学)
- OS06-4 アンカリング効果発生に具体的な数値を想起させることの重要性  
大貫祐太郎(成城大学), 新垣紀子(成城大学)
- OS06-5 問題文と選択肢の双方の知識量に基づく推論  
白砂大(東京大学), 松香敏彦(千葉大学)
- OS06-6 短絡的思考傾向にあると評価される個人の性格的・認知的特徴  
稲葉緑(JR東日本研究開発センター), 楠神健(JR東日本研究開発センター)
- OS06-7 記憶に基づく誤った信念の系統性：推論における正確性の個人差を説明できるのか？  
本田秀仁(東京大学), 松香敏彦(千葉大学), 植田一博(東京大学)

## **OS07 認知科学は舞台芸術を語れるのか？**

企画者：佐藤由紀（玉川大学），渋谷友紀（国立障害者リハビリテーションセンター），安藤花恵（西南学院大学），後安美紀（urizen）

13:00-15:30 会場：A12（大学院情報科学研究科棟1階）

- OS07-1 伝統芸能のようなもの  
渋谷友紀(国立障害者リハビリテーションセンター学院)
- OS07-2 時間芸術を成り立たせるもの～舞台に立つパフォーマーの分析～  
安藤花恵(西南学院大学)
- OS07-3 舞台上に描かれる動きの設計図を作る：演出家の仕事について  
後安美紀(urizen)
- OS07-4 言葉を身体化していく過程を分析してみる  
佐藤由紀(玉川大学)
- OS07-5 即興演劇と台本演劇における観客による印象の違い  
ヒュース由美(東京大学/インプロ・ワークス)
- OS07-6 日本の俳優の演技法とその熟達：日本の俳優の演技法に関するインタビュー分析から  
小森創介(玉川大学/フットプリンツ)

## **OS08 情報学／物語学—「人工者」の時代のために—**

企画者：小方孝（岩手県立大学），川村洋次（近畿大学），金井明人（法政大学）

13:00-18:20 会場：A13（大学院情報科学研究科棟1階）

- OS08-1 情報学／物語学—「人工者」の時代のために—  
小方孝(岩手県立大学)
- OS08-2 物語シミュレーションと不確定性  
金井明人(法政大学)
- OS08-3 物語生成理論の持つ万物理論的側面  
新田義彦(日本大学)
- OS08-4 天国か地獄か…地獄の作家  
阿部明典(千葉大学)
- OS08-5 レトリカルエージェントの可能性：比喩を対象として  
内海彰(電気通信大学)
- OS08-6 ゲームのための自動生成機構—物語自動生成ゲームの開発に向けて—  
小野淳平(岩手県立大学), 小方孝(岩手県立大学)
- OS08-7 クリエイターと消費者の共創に基づく広告映像制作支援システム  
川村洋次(近畿大学)
- OS08-8 「インサイト（創造的瞬間）」の促進と「デザイン思考」の効果  
廣田章光(近畿大学)

## OS09 フィールドに出た認知科学 2

企画者：伝康晴（千葉大学），諏訪正樹（慶應義塾大学），藤井晴行（東京工業大学）

13:00-18:20 会場：A22（大学院情報科学研究科棟2階）

- OS09-1 人はいかにして「歩き出す」ことを了解するのか—展示物解説活動に埋め込まれた移動—  
坂井田瑠衣(慶應義塾大学/日本学術振興会), 坊農真弓(国立情報学研究所/総合研究大学院大学)
- OS09-2 高齢者のコミュニケーション支援に向けた遠隔の親子間共食会話の事例分析  
徳永弘子(東京電機大学), 武川直樹(東京電機大学), 秋谷直矩(山口大学), 中谷桃子(NTTアイティ株式会社)
- OS09-3 身体的インタラクションを提示して教示する：柔術の技術指導場面から  
伝康晴(千葉大学)
- OS09-4 猿田彦の舞における舞方と奏方の即興的調整：野沢温泉燈籠祭りの事例から  
寺岡丈博(東京工科大学), 伝康晴(千葉大学), 榎本美香(東京工科大学)

- OS09-5 飛び入りで協働活動に参加する～野沢温泉道祖神祭り三年間の事例より～  
榎本美香(東京工科大学), 伝康晴(千葉大学)
- OS09-6 聞き取り調査から描きだされる伊是名の民家の空間の特徴と空間図式 (伊是名集落の民家の一番座・二番座および両端に注目した住空間の特徴に関する研究)  
篠崎健一(日本大学), 藤井晴行(東京工業大学)
- OS09-7 写真日記を調査資料とする空間図式の構成  
藤井晴行(東京工業大学), 篠崎健一(日本大学)
- OS09-8 市民マラソン大会における走者と観客の価値共創の構造 –盛り上がりとは何か 金沢マラソン2015の事例–  
西中美和(総合研究大学院大学), 加藤鴻介(金沢工業大学)
- OS09-9 「他者の認知の利用」に関する生態学的考察  
高梨克也(京都大学)

## OS10 ICT による観光資源開発支援:心理学的効果を応用した期待感向上

企画者: 伊藤篤(宇都宮大学), 森下美和(神戸学院大学), 平松裕子(中央大学), 原田康也(早稲田大学) 上田一貴(東京大学)

13:00-15:30 会場: A23 (大学院情報科学研究科棟2階)

- OS10-1 ICT による観光資源開発支援と多言語ホスピタリティー・コミュニケーション  
原田康也(早稲田大学), 森下美和(神戸学院大学), 伊藤篤(宇都宮大学)
- OS10-2 BLEビーコンを利用した旅行案内アプリにおける気付きの評価  
伊藤篤(宇都宮大学), 平松裕子(中央大学), 上田一貴(東京大学), 羽多野裕之(宇都宮大学), 佐藤美恵(宇都宮大学), 佐藤文博(中央大学), 渡辺裕(宇都宮大学), 佐々木陽(株式会社GCLue)
- OS10-3 Zeigarnik effectを利用した記憶に残る情報提供アプリの提案 –学習効果を中心に–  
増田孝男(中央大学), 佐藤文博(中央大学), 平松裕子(中央大学), 伊藤篤(宇都宮大学), 佐々木陽(株式会社GCLue)
- OS10-4 観光をテーマとしたゼミにおけるプロジェクト活動: 学生の気づきと行動変容  
森下美和(神戸学院大学)
- OS10-5 手描き線画自動彩色技術の観光支援ツールとしての利活用  
倉田沙織(宇都宮大学), 森博志(宇都宮大学), 外山史(宇都宮大学), 東海林健二(宇都宮大学), 伊藤篤(宇都宮大学)
- OS10-6 物体認識型ARの観光支援システムへの応用可能性の検討  
加藤昇(宇都宮大学), 佐藤美恵(宇都宮大学), 伊藤篤(宇都宮大学)

## OS11-1 学校内外の学びをつなぐ (1) パネルディスカッション

企画者：白水始（東京大学），岡部大介（東京都市大学），益川弘如（静岡大学），伊藤崇（北海道大学）

13:00-15:30 会場：A24（大学院情報科学研究科棟2階）

OS11-1-1 「学校内外の学びをつなぐ(1)」について

白水始(東京大学)

OS11-1-2 説明モデルの精緻化を支える社会的建設的相互作用

齊藤萌木(東京大学)

OS11-1-3 教師の前向きな学びを支えるデザイン研究—「知識構成型ジグソー法」を媒介にした東京大学CoREFの研究連携—

飯窪真也(東京大学)

## OS11-2 学校内外の学びをつなぐ (2) ラウンドテーブル

企画者：岡部大介（東京都市大学），益川弘如（静岡大学），伊藤崇（北海道大学），白水始（東京大学）

15:50-18:20 会場：A24（大学院情報科学研究科棟2階）

OS11-2-1 高校数学における思考の外化を促す活動とその効果

永井香(桜美林中学校・高等学校)

OS11-2-2 創造的教養を育む芸術教育実践：日常の写真活動に及ぼす効果

石黒千晶(東京大学)，岡田猛(東京大学)

OS11-2-3 野火的な超小型衛星開発プロジェクトのフィールド調査から得られた教育的示唆

渡辺謙仁(北海道大学)，田邊鉄(北海道大学)

## OS12 脳活動からみる社会性認知のメカニズム

企画者：小川昭利（順天堂大学），座間拓郎（明治大学），嶋田総太郎（明治大学）

15:50-18:20 会場：A11（大学院情報科学研究科棟1階）

OS12-1 他者に対して抱く印象によって変化する不平等の回避特性とその神経活動

中谷裕教(東京大学)

OS12-2 応援が対戦ゲームにおけるプレイヤーと観察者の脳機能結合に与える影響 — 二人同時脳活動計測による検討 —

小出允善(明治大学)，嶋田総太郎(明治大学)

OS12-3 運動準備中の脳活動計測による自己身体の神経基盤の検討

座間拓郎(明治大学), 嶋田総太郎(明治大学)

OS12-4 競合ゲームにおける勝率最大化に関わる脳活動

小川昭利(順天堂大学), 亀田達也(東京大学)

OS12-5 ヒトの社会的意思決定を支える神経機構

鈴木真介(東北大学)

### **OS13 幼児と人型ロボットはいかにして遊ぶか －保育園における継続観察からみた人とロボットの間を結ぶもの－**

企画者：佐藤公治（北海道大学），小野哲雄（北海道大学）

15:50-18:20 会場：A12（大学院情報科学研究科棟1階）

OS13-1 3歳児から見たロボット,ロボットから見た3歳児 － 保育園での長期インタラクション観察から －

小嶋秀樹(宮城大学)

OS13-2 子どもとロボットとの関わりから「意味の生成」を考える －出来事の意味化にみる年長児と3歳児の違い－

佐藤公治(北海道大学)

OS13-3 幼児とロボットとの関係性の形成

長橋聡(京都橘大学)

OS13-4 「保育の質」の定量化に向けた子どもとロボットの関わり －子どもの心的状態推定へのアプローチ－

山田徹志(玉川大学), アッタミムムハンマド(玉川大学), ジャンビン(東京電気通信大学), 宮田真宏(玉川大学), 中村友昭(電気通信大学), 大森隆司(玉川大学), 長井隆行(電気通信大学), 岡夏樹(京都工芸繊維大学), 西村拓一(産業技術総合研究所)

### **OS14 認知過程をありのままに受け入れる**

企画者：市川 淳（名古屋大学）・清水 大地（東京大学）・中野 優子（東京大学）・布山 美慕（慶應義塾大学）・日高 昇平（北陸先端科学技術大学院大学）

15:50-18:20 会場：A23（大学院情報科学研究科棟2階）

OS14-1 身体知の言語化とその情報学的な段階モデルの応用 立位と歩行に注目して

山田雅敏(常葉大学), 里大輔(常葉大学), 坂本勝信(常葉大学), 小山ゆう(常葉大学), 砂子岳彦(常葉大学), 竹内勇剛(静岡大学)

OS14-2 読者の熱中・忘我状態の同定

布山美慕(慶應義塾大学), 日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学)

OS14-3 創作に注目した「身体表現教育」の実践とその効果：ダンスを専門としない大学生を対象として

中野優子(東京大学), 清水大地(東京大学), 岡田猛(東京大学)

OS14-4 都市歩行の研究に基づく「ありのままの認知」の研究方法に関する考察

北雄介(京都大学)

OS14-5 ブレイクダンスにおける練習と実践との関係性

清水大地(東京大学), 岡田猛(東京大学)

9月17日（土）

### 口頭発表1

9:00-10:20 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

- O1-1 両手の接触による双安定性をもつ事象知覚の変容  
齋藤五大(東北大学), 行場次朗(東北大学)
- O1-2 他者との身体的な同期運動が我々の意識的・無意識的態度に与える影響  
伴碧(同志社大学), 高橋英之(大阪大学)
- O1-3 ジェットコースター刺激を用いた高覚醒状態における景観記憶の研究  
佐久間嶺央(会社員), 横山ゆりか(東京大学), 福田玄明(東京大学), 植田一博(東京大学)
- O1-4 情報の「理解」の定式化に向けて  
日高昇平(北陸先端科学技術大学院大学)

### 特別企画

10:30-11:50 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

ヒト／動物／人工物の社会性の認知基盤：解明と応用

企画者：長谷川壽一・開一夫・植田一博（すべて東京大学）

### 総会

12:50-13:30 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

### 野島賞 報告セッション

13:30-14:00 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

企画：野島賞選考委員会

受賞者：阿部慶賀（岐阜聖徳学園大学），猪原敬介（電気通信大学）

### 特別講演

14:10-15:10 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

ワインの香りとコミュニケーション

講演者：佐々木佳津子（ワイン醸造家）

## 口頭発表2

15:20-16:20 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

O2-1 書き言葉におけるプライベートスピーチの発達

石本啓一郎(立教大学)

O2-2 発話意図推測に関する文脈の手がかりと言語的手がかりの理解

安田哲也(十文字学園女子大学), 伊藤恵子(十文字学園女子大学), 高田栄子(十文字学園女子大学), 小林春美(東京電機大学)

O2-3 語意の再編成過程における情報共有志向性の役割

佐治伸郎(鎌倉女子大学), 王冲(大連理工大学), 洪春子(お茶の水女子大学), 大庭真人(慶應義塾大学)

## フラッシュトーク

16:30-17:20 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

ポスターセッション1の発表のうち、番号に印(\*)のあるものが対象。口頭で1分間の概要を発表。

## ポスターセッション1

17:30-19:30 会場：北部食堂（北大生協）

P1-1\* 眼球運動特性を用いたマインドワンダリングの判別

吉村直己(大阪府立大学), 牧岡省吾(大阪府立大学)

P1-2\* マルチタスク環境下における認知的リソース配分の個人差

西崎友規子(京都工芸繊維大学), 永井聖剛(立命館大学)

P1-3 嚙下運動のAutomatic imitation

松田剛(京都府立医科大学), 山脇正永(京都府立医科大学)

P1-4\* 自己誘導運動による体感風速と体感温度への影響

阿部慶賀(岐阜聖徳学園大学)

P1-5\* 到達運動における位置誤差と誤差評価

上田奈津貴(早稲田大学), 田中観自(早稲田大学), 渡邊克巳(早稲田大学)

P1-6\* 刺激画像が示唆するパワーと発揮握力との関係

永井聖剛(立命館大学), 山田陽平(奈良教育大学), 金谷英俊(愛知淑徳大学), 川上直秋(島根大学), 西崎友規子(京都工芸繊維大学)

P1-7 戦略的文脈における無意識的模倣の影響

井藤寛志(愛知大学)

- P1-8\* An Experimental Study of the Relationship Between Focality and Short-Term Memory of Colors in the Japanese Language  
方思源(早稲田大学), 松居辰則(早稲田大学)
- P1-9 服飾ブランドの記憶の誤帰属：ブランドイメージの長期的な変容  
佐山公一(小樽商科大学)
- P1-10\* 幼児の言語使用による類推への効果  
齊藤都(名古屋大学), 佐治伸郎(鎌倉女子大学), 廣田昭久(鎌倉女子大学)
- P1-11\* 乳児は視線に随伴するキャラクターに自己を投影するか？～行為主体感の拡張性の発達の検討  
宮崎美智子(大妻女子大学), 高橋英之(大阪大学)
- P1-12\* Crime Detection in Text for a Better Moral Reasoning System  
Radoslaw Komuda(北海道大学), Michal Ptaszynski(北見工業大学), Rafal Rzepka(北海道大学), 荒木健治(北海道大学)
- P1-13\* 絵本の内容理解における下位技能の寄与(2):絵本の主題の理解しやすさが誤信念理解と類推の活用 に与える効果  
光田基郎(大阪教育保育専門学校)
- P1-14\* 信念及び知覚的表象と解釈及び判断との関連  
福岡未紗(名古屋大学), 三輪和久(名古屋大学), 前東晃礼(名古屋大学)
- P1-15\* 階層ディリクレ過程隠れ言語モデルと深層学習を用いた語彙獲得過程の計算論  
林楓(立命館大学), 中島諒(立命館大学), 長坂翔吾(立命館大学), 谷口忠大(立命館大学)
- P1-16\* 第二言語としての英語学習におけるReal Life Experience法の提案  
野田浩平(株式会社ココロラボ), 松岡良彦(Starting Point English Academy)
- P1-17 (Non) genericityとテンス形式  
山森良枝(同志社大学)
- P1-18 文末詞による心理的關係構築の調整：顔文字の間合い感覚 (2)  
伊東昌子(常磐大学)
- P1-19\* 聴覚呈示された同音異義語の処理過程－音韻から形態へのフィードバックは生じるのか－  
水野りか(中部大学), 松井孝雄(中部大学)
- P1-20\* 言語統計解析に基づく計算モデルを用いた文章の適切性判断に関する検討  
白水優太郎(東京工業大学), 寺井あすか(公立ほこだて未来大学), 王婉瑩(清華大学), 中川正宣(大妻女子大学)

- P1-21\* (言語学者による) 容認度評定の認証システムを試作する構想  
黒田航(杏林大学), 阿部慶賀(岐阜聖徳学院大学), 横野光(富士通研究所), 田川拓海(つくば大学), 金丸敏幸(京都大学), 小林雄一郎(東洋大学), 土屋智行(九州大学), 浅尾仁彦(情報通信研究機構)
- P1-22\* メタ・ゲームとしての相互信頼感形成  
片桐恭弘(公立ほこだて未来大学)
- P1-23\* 問題解決型学習における認知負荷と認知活動についての実験的検討  
水野陽介(名古屋大学), 三輪和久(名古屋大学), 小島一晃(帝京大学), 寺井仁(近畿大学)
- P1-24 「Tパズルは洞察問題ではない」の実験的証明  
高岸悟(放送大学)
- P1-25\* 異なる目標を持つ二者による協同問題解決：課題達成後の主観評価に見る制御焦点の効果  
池永将和(筑波大学), 原田悦子(筑波大学)
- P1-26\* 情報機器を利用する場面における学習とその加齢による変化：シミュレーションによる検討  
大門貴之(筑波大学), 原田悦子(筑波大学), 須藤智(静岡大学), 宇佐美慧(筑波大学)
- P1-27\* むいぐるみ型端末を用いた世代間コミュニケーション支援の評価  
新井田統(KDDI研究所), 石原妙子(オージス総研), 後舎満(KDDI株式会社), 塚本陽一(KDDI株式会社)
- P1-28\* 運転支援方法とユーザビリティ・行動変容の関係に関する実験的検討  
松林翔太(名古屋大学), 三輪和久(名古屋大学), 山口拓真(名古屋大学), 神谷貴文(名古屋大学), 鈴木達也(名古屋大学), 池浦良淳(三重大学), 早川聡一郎(三重大学), 伊藤隆文(株式会社デンソー), 武藤健二(株式会社デンソー)
- P1-29\* ネット投票の賛否の要因 —メディアリテラシーとプライバシー感度からの探索—  
野村竜也(龍谷大学), 藤吉竜馬(龍谷大学), 塚元優太(龍谷大学)
- P1-30\* 食品や健康の話題に関するウェブ情報探索プロセスの分析：批判的思考態度との関連性について  
南部美砂子(公立ほこだて未来大学), 村田友香(株式会社アイ・エム・ジェイ)
- P1-31 ハンドブック「介護過程から理解する生活支援技術」の評価  
武田啓子(日本福祉大学)
- P1-32\* ユーザーの信頼と購買意欲を誘発する商品推薦エージェントの設計論  
松井哲也(国立情報学研究所), 山田誠二(国立情報学研究所/総合研究大学院大学/東京工業大学)

- P1-33\* 企業内ユーザビリティ専門家の情報システム開発プロジェクト参画における認知プロセス  
谷川由紀子(NEC), 鈴木栄幸(茨城大学), 加藤浩(放送大学), 福住伸一(NEC), 原田悦子(筑波大学)
- P1-34 研究手法のモデル化によって提案したITSと情報社会論の融合の発展性  
森田均(長崎県立大学), 松坂勲(長崎電気軌道株式会社), 山口泰生(長崎電気軌道株式会社), 酒井寿美雄(協和機電工業株式会社), 曾理恵子(協和機電工業株式会社)
- P1-35\* 野火的活動における参加の動機と活動の継続性 – アマチュアの科学実践を事例として –  
木村優里(東京理科大学)
- P1-36\* 現代美術家による作品コンセプトの生成過程 – アイデア生成の初期におけるドローイングの利用に注目して –  
高木紀久子(東京大学), 横地早和子(東京未来大学), 岡田猛(東京大学)
- P1-37\* 絵画鑑賞はどのように進むのか? 発話に基づくタイムコースと解説文の効果の検討  
田中吉史(金沢工業大学)
- P1-38\* ジャズの即興演奏学習場面における演奏者の「音の協働探索」  
蓮見絵里(立教大学)
- P1-39\* デザインにおける視覚情報の認知的研究 – 視線追跡装置を利用した日本人と中国人の比較分析 –  
寺朱美(北陸先端科学技術大学院大学), 深見友(北陸先端科学技術大学院大学), 永井由佳里(北陸先端科学技術大学院大学)
- P1-40\* ダンス経験のない教員がダンスを教えるために-指導不安の定量化-  
山口莉奈(同志社大学), 正田悠(立命館大学), 鈴木紀子(帝塚山大学), 阪田真己子(同志社大学)
- P1-41\* 私たちはみんなリーダーになりたい - ドラムセッションにおけるleader-followerスタンスの神経基盤の検討 -  
高橋英之(大阪大学), 佐武宏香(大阪大学), 守田知代(大阪大学), 浅田稔(大阪大学), 内藤栄一(CiNet)

9月18日（日）

### 口頭発表3

9:00-10:20 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

O3-1 感情の価値システムとしてのモデル化の試み

宮田真宏(玉川大学), 大森隆司(玉川大学)

O3-2 ライフログ写真と認知アーキテクチャを利用したモデルベース回想法: ケーススタディの報告

森田純哉(静岡大学), 平山高嗣(名古屋大学), 間瀬健二(名古屋大学), 山田和範(パナソニック株式会社)

O3-3 自分の食事の中の静止画を見ると食事をおいしく感じる

中田龍三郎(名古屋大学), 川合伸幸(名古屋大学)

O3-4 教えるは知るより高し: 知識・情報における所有効果

中村國則(成城大学)

### フェロー講演

10:30-11:30 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

言語・非言語コミュニケーションの基盤機構と発達原理

講演者：乾敏郎（追手門学院大学/京都大学）

### 会長講演

12:30-13:30 会場：レクチャーホール（フロンティア応用科学研究棟2階）

対人インタラクション知能の解明に向けて

講演者：大森 隆司（玉川大学）

### ポスターセッション2

13:40-15:40 会場：セミナー室1,2（フロンティア応用科学研究棟1,2階）

P2-1 カテゴリ数を学習するファジィ分類アルゴリズム

西田豊(大阪大学)

- P2-2 ユーモアの有無と反応する脳部位の検討  
 岩崎実希(群馬県立県民健康科学大学), 米持圭太(群馬県立県民健康科学大学), 柏倉健一(群馬県立県民健康科学大学), 鈴木智也(群馬県立県民健康科学大学), 大山博史(群馬県立県民健康科学大学), 松島直希(群馬県立県民健康科学大学), 阿部一美(群馬県立県民健康科学大学)
- P2-3 fMRIを用いた危険予知トレーニング時の脳賦活部位の検討  
 松島直希(群馬県立県民健康科学大学), 米持圭太(群馬県立県民健康科学大学), 柏倉健一(群馬県立県民健康科学大学), 岩崎実希(群馬県立県民健康科学大学), 大山博史(群馬県立県民健康科学大学), 阿部一美(群馬県立県民健康科学大学)
- P2-4 代理報酬によるミラーニューロンシステムの活動変化  
 Aziem Athira Abdullah(明治大学), 尾崎明美(明治大学), 小出允善(明治大学), 島田総太郎(明治大学)
- P2-5 ランダムに配置された粒子群画像の周期的提示による運動認知  
 大槻正伸(福島工業高等専門学校), 遠藤佑哉(福島工業高等専門学校), 蛭田一希(福島工業高等専門学校), 小泉康一(福島工業高等専門学校), 車田研一(福島工業高等専門学校)
- P2-6 「目を離す」ことによる事故の防止を目指した注意配分理論に基づいたアプローチ  
 原田恵(NTT未来ねっと研究所), 竹内亨(NTT未来ねっと研究所), 筒井章博(NTT未来ねっと研究所)
- P2-7 映像遅延による視覚誘導運動エラーが自己身体認識に与える影響  
 高橋芳幸(明治大学), 座間拓郎(明治大学), 嶋田総太郎(明治大学)
- P2-8 跨ぎ越え動作のダイナミクス：障害物の高さによる跨ぎ越えパターンの変化  
 児玉謙太郎(神奈川大学), 安田和弘(早稲田大学), 園田耕平(立命館大学)
- P2-9 ベッド型歩行器具の他動歩行感覚を拡張する没入型歩行感覚提示の印象に関する研究  
 尾方寿好(中部大学), 片桐雅貴(愛知工業大学), 鈴木裕利(中部大学), 石井成郎(愛知さわみ看護短期大学), 澤野弘明(愛知工業大学)
- P2-10 3Dイメージと3D印刷されたオブジェクトの利用が空間的推論に与える影響  
 前東晃礼(名古屋大学), 三輪和久(名古屋大学), 小田昌宏(名古屋大学), 中村嘉彦(苫小牧工業高等専門学校), 森建策(名古屋大学), 伊神剛(名古屋大学)
- P2-11 幼児はどのように静物を認識していくのか？ 形と色に基づいた静止の再生的直後心像を用いた横断的な一調査  
 牛久香織(早稲田大学), 宮崎清孝(早稲田大学), 百瀬桂子(早稲田大学), 三嶋博之(早稲田大学), 齋藤美穂(早稲田大学)
- P2-12 こどもの外国語活動の場における認知言語学の有用性  
 本多明子(至学館大学)
- P2-13 音楽鑑賞授業における前向きな学びの可能性  
 杉澤千里(放送大学教養学部/富士市立富士南小学校)

- P2-14 協調的な学びに関する教師の信念の変容プロセス  
河崎美保(追手門学院大学), 遠藤育男(静岡県伊東市立対島中学校), 益川弘如(静岡大学)
- P2-15 観察学習におけるモデルの課題遂行成績が学習者の課題遂行成績に与える影響  
田中観自(早稲田大学), 河合隆史(早稲田大学), 渡邊克巳(早稲田大学)
- P2-16 活動の中で学習を捉えるための理論枠組みの一検討(3)  
三宅芳雄(放送大学)
- P2-17 人間は環境の厳しい変化に柔軟に適応する能力をいかに発展させるか  
福永征夫(アブダクション研究会)
- P2-18 他者観察が洞察問題解決に及ぼす影響——観察内容とその後の取り組み内容の対応に関する検討——  
清河幸子(名古屋大学)
- P2-19 モンティ・ホール問題における選択変更確率の強度についての検討  
田村昌彦(立命館大学)
- P2-20 思考実験を通じた問題解決の妨害要因  
松室美紀(名古屋大学), 三輪和久(名古屋大学)
- P2-21 思考実験を通じた内的モデル修正過程の観察  
頓部有以子(名古屋大学), 松室美紀(名古屋大学), 三輪和久(名古屋大学)
- P2-22 On the Cognitive Process of Evaluation: Mixture of Absolute and Relative Judgments  
菅谷友亮(京都大学)
- P2-23 ポテンシャルゲームを用いてくじ比較における認知をモデル化する  
犬童健良(関東学園大学)
- P2-24 新聞図表現における情報の網羅性判断：意味論的アプローチ  
下嶋篤(同志社大学), 濱田勇輝(同志社大学), 福治菜摘美(同志社大学)
- P2-25 物語文・説明文・Webテキストの読書習慣と単語連想の関連についてのコーパス分析  
猪原敬介(電気通信大学/日本学術振興会), 内海彰(電気通信大学)
- P2-26 中国語における述語動詞を中心とした帰納的推論の計算モデルの構築  
張寓杰(東邦大学), 張亜麗(清華大学), 寺井あすか(公立ほこだて未来大学), 王婉瑩(清華大学), 菊地賢一(東邦大学), 中川正宣(大妻女子大学)
- P2-27 隠喩的表現における面白さと間違い探しの関係の検討  
中村太戯留(慶應義塾大学/東京工科大学)
- P2-28 現代日本語共通語のコピュラ・終助詞の韻律と発話構造  
定延利之(神戸大学)

- P2-29 言語のグラウンディングと状況の事例記憶  
Santiago Campos Losada(無所属)
- P2-30 地図課題対話において発話の理解はどのように示されるか？  
川端良子(国立国語研究所/千葉大学), 松香敏彦(千葉大学), 伝康晴(千葉大学)
- P2-31 ひらがな・カタカナを用いた形態象徴の検討  
平田佐智子(株式会社イデアラボ), 小松孝徳(明治大学)
- P2-32 行為文理解時の運動シミュレーションに動詞の時相が与える影響  
粟津俊二(実践女子大学)
- P2-33 時鐘施設の音環境が時間共有感と街への帰属意識に及ぼす影響  
松田憲(北九州市立大学), 黒田怜佑(山口大学), 楠見孝(京都大学), 辻正二(保健医療経営大学)
- P2-34 音のインタラクションにおけるエージェンシー認知についての検討  
齋藤ひとみ(愛知教育大学), 中野亜美(愛知教育大学)
- P2-35 気分誘導を目的としたネガティブ曲・ポジティブ曲の作成とその効果に関する試行的検討  
林美都子(北海道教育大学), 名木小夏(株式会社ノースモバイル)
- P2-36 偶像エージェントの啓示が利益分配場面で与える影響  
尾関智恵(岐阜大学), 寺田和憲(岐阜大学)
- P2-37 擬人化エージェントとのインタラクションを促進する要因：デフォルメ度の操作と脈拍を用いた実験的検討  
北村文乃(立命館大学), 林勇吾(立命館大学)
- P2-38 タブレットによる機器メンテナンス操作の説明：年齢間比較を用いたエージェントによる理解促進効果の検討  
長谷川莉子(筑波大学), 赤津裕子(沖電気工業株式会社), 原田悦子(筑波大学)
- P2-39 身体的なインタラクションを通じたコミュニケーション欲求に基づく他者モデルの構築過程  
坂本孝丈(静岡大学), 竹内勇剛(静岡大学)
- P2-40 他者の視線に対して抱く感情に社交不安傾向が与える影響  
都地裕樹(明治大学), 嶋田総太郎(明治大学)
- P2-41 嘘を吐く時に何が心をよぎるのか  
石川悟(北星学園大学)
- P2-42 矢印を用いた「組み合わされた方向サイン」のわかりやすさ：構造、アイコン、加齢の効果  
原田悦子(筑波大学), 橋本英奈(筑波大学), 須藤智(静岡大学)

- P2-43 言語的経路指示の際に参照する地図の向きがもたらす影響  
小島隆次(滋賀医科大学)
- P2-44 人工物の評価における審美的情報と内省的情報  
荷方邦夫(金沢美術工芸大学)
- P2-45 デザイン評価のレベルと二重過程理論の関係—文房具の口コミ評価による検討—  
島田英昭(信州大学), 森下美帆(信州大学), 荷方邦夫(金沢美術工芸大学)
- P2-46 振付創作プロセスにおけるコンテンポラリーダンス作品の変容—環境との関係に着目して—  
赤木満里奈(神戸大学), 野中哲士(神戸大学)
- P2-47 声楽における技の伝達と習得  
山本真秀(神戸大学), 野中哲士(神戸大学)
- P2-48 ドラム打叩動作における身体の協応と熟達に関する研究：表面筋電図を用いた演奏安定性の検討  
谷貝祐介(早稲田大学), 古山宣洋(早稲田大学)
- P2-49 サイエンスカフェ参加者のメンバーシップに関する談話研究  
小泉千尋(青山学院大学)
- P2-50 起業プロセスは様々な利害関係の中でどのように行われるか—情動的側面に着目して—  
北本遼太(筑波大学)
- P2-51 危険予知訓練のための事故情報提供システムの試作と評価  
鈴木裕利(中部大学), 石井成郎(愛知きわみ看護短期大学), 藤本健治郎(鹿島建設株式会社), 澤野弘明(愛知工業大学), 尾方寿好(中部大学), 林直輝(株式会社コーワメックス)